

2021 年 4 月

2021 年度 「ユネスコ協会 SDGs パスポート」 実施のガイドライン

I. 日本ユネスコ協会連盟の SDGs パスポート実施について

新しくなった SDGs パスポート事業では、各ユネスコ協会・クラブの皆さまの創意工夫で、地域の事情にあわせて SDGs パスポートと活動認定証を作成していただけます。

他方、引き続き日本ユネスコ協会連盟が発行する活動認定証をご希望の場合は、以下のガイドラインに沿って、事業の実施をお願いいたします。ESD パスポートと同様、提出いただいたパスポートのボランティアの内容を確認して、ガイドラインに沿って 30 ボランを達成している場合のみ活動認定証を発行いたします。

1. 活動数の記録について

(1) カウントの仕方、ルールは次の通りです。

- ① 活動時間の単位をボラン（ボランティアの短縮形）とします。
- ② 1日のボランティア活動の、
45分から2時間の活動を「1ボラン」
2時間以上の活動をすべて「2ボラン」
- ③ 活動記録欄の1か2（ボラン）に○をして、指導者印またはサインをして下さい。

(2) カウント対象となるもの、ならないもの（具体的には「2. 対象となるボランティア活動の例」をご参照ください）

SDGs パスポートが認定するボランティア活動は、「地域・社会の課題解決にむけて、無償で自ら進んで人の役に立とうという地域社会（学校外）での奉仕活動」が対象です。

学校の教育活動（職業体験活動、地域貢献活動も含む）の一環として行われるものは、ボランティア活動として本事業のカウントの対象にはなりません。課外活動（クラブ、委員会等）でも取り組むことができますが、課外活動の場合は、基本的には学校外のものとしします。

- 事業に“運営スタッフ”で参加する場合は認定対象となりますが、“参加者”の場合は対象となりません。
- ESD や SDGs に関する講座の受講や、自然体験教室や野外観察会などに参加者として参加する場合も認定の対象となりません。
例：ESD 講座を受講した→「認定対象外」
チャリティーコンサートに聴衆として参加→「認定対象外」
会場内案内係として参加→「認定対象」
チャリティーコンサートに演奏者として参加→「認定対象」

- 同一の目的で長期間行われる活動で、1日単位での活動時間のカウントが難しいものは、1事業をまとめて「2ボラン」とします。
 例1：書きそんじハガキ集めやエコキャップ回収運動など、1日の活動が数分で、活動時間の算出が難しいもの。
 →指導者のご判断で、月/学期単位で2ボランとして下さい。
 例2：チャリティーコンサートやお祭りに出演するなど、ボランティア当日だけでなく、事前の練習時間が必要な場合
 →練習時間とボランティア当日をあわせて、2ボランとします。

(3) パスポート記入方法

「いつ、どこで、誰・何のために、どういうボランティア活動をした」がわかるように記入をして下さい。
 空欄がないように記入をお願いします。

活動記録の記入例

ボランティア活動に参加したら、その内容を活動記録欄に記入していきましょう。
 活動が終わったら「活動実績表」に記入し、学校の先生（またはユネスコ協会）に提出してください。

45分から2時間未満は「1ボラン」、2時間以上の活動は「2ボラン」に○

ボランティア活動日を記入

ボランティア活動した場所を記入
(例：○○駅、○○川)

日付	活動数(1日) 1・2 ボラン	場所
活動団体 <small>参加したボランティア活動の実施団体名</small>		
ボランティア内容 <small>活動内容を記入(例：東日本大震災被災者のための募金活動、○○川の清掃活動など)</small>		
わかったこと・気付いたこと		SDGs目標
このボランティア活動がどのSDGsの目標にあたるか記入		
ボランティア活動に参加してわかったこと、気付いたことなどを記入		印/サイン

ボランティア活動の主催団体を記入して下さい

ボランティア活動の場所を記入して下さい

ボランティア活動内容がわかるように記入して下さい

活動が当てはまるSDGsの目標を記入

ボランティア活動に参加してみたの気づき、感想などを書いて下さい

活動終了後、ボランティア活動主催者に印かサインをもらって下さい

2. 対象となるボランティア活動の例

「SDGs パスポート」事業でボランティア活動実績として認める事例をご紹介します。

- 国際協力に関わる活動
 - ・ 街頭募金（世界寺子屋運動など）
 - ・ 書きそんじハガキ（回収と整理）
- 国際交流
 - ・ 留学生との交流の企画・サポート
- 平和に関する活動
 - ・ 平和の鐘をならそう（運営スタッフ）
- 環境保護にかかわる活動
 - ・ リサイクル活動（空きビン、缶、古紙牛乳パック、トレー、エコキャップ、プルタブ等）
 - ・ 自然保全活動
 - ・ 清掃美化活動（町内のゴミ拾い、草取り、駅舎清掃など）
- 文化・芸術にかかわる活動
 - ・ 伝統文化や郷土芸能の継承・発展に参加（例：プロジェクト未来遺産での活動、ボランティアガイド）
 - ・ 社会教育施設等での文化祭等の企画・運営
 - ・ チャリティーコンサートなどの企画・運営
- 防災・減災にかかわる活動
 - 街頭募金（東日本大震災子ども支援募金等）
 - 災害支援、復興活動
- 福祉にかかわる活動 その他
 - ・ 福祉施設等での日常生活の援助
 - ・ 独居老人宅訪問
- 学校外での行事の手伝い、高齢者の話し相手
 - ・ 点訳、手話、朗読
- 子どもの健全育成にかかわる活動 その他
 - ・ 野外活動やスポーツ等の指導
 - ・ 年下の子どもたちの世話や遊び相手
 - ・ 地域防犯活動

3. カウント対象にならない活動

SDGs パスポートが認定するボランティア活動は、「地域・社会の課題解決にむけて、無償で自ら進んで人の役に立とうという地域社会（学校外）での奉仕活動」が対象です。

下記は、これまでに「活動認定証」の申請があった活動記録の実際の事例です。これらは本事業の趣旨と、ボランティア活動の持つ「自発性」「公共性」という性質からカウントの対象にするのは難しい例として、ご紹介します。

本事業の活動の目的は、児童・生徒が自発的に地域社会に飛び出して、持続可能な社会を作るためのボランティア活動に参加することです。そのため、学校（学校の主導の下）で行われる教育活動とは別の、児童・生徒による地域社会での自主的なボランティア活動ととらえています。

	内容	理由
1	アルミ缶 古紙 牛乳パック プルタブ ペットボトルキャップ 古着 } 回収	子どもたちが自発的に、地域で多くの人を巻き込んで行う活動は対象。 「自宅にあるものを学校へ持ってきた」（例：家から牛乳パックを学校へ持参した。家の空き缶を持参した）等といった個人の範囲の活動は対象外。
2	募金 書きそんじはがき回収	街頭募金など、地域で多くの人を巻き込んで行う活動は対象。 「自宅から学校へ持ってきた」は対象外。
3	イベントの企画、準備、話し合い（例：バザー、お祭りなど）	当日と事前準備をあわせて2 ボランとカウント
4	学校内・学校周辺の掃除、草むしり等	学校の教育活動のため、対象外。
5	学校説明会の手伝い	学校の教育活動のため、対象外。
6	あいさつ運動（校門、学区）	学校の教育活動のため、対象外。
7	自宅・自宅周辺のそうじ、草むしり等	ボランティア活動と捉えるには公共性が低いため、対象外。
8	〇〇（ESD 発表会）などで発表	「発表」は対象外。
9	防災訓練	「参加者」は対象外 運営に携わった場合は対象。
10	〇〇について学ぶ（例：地域遺産）	「参加者」は対象外。
12	ボランティアツアー・ワークキャンプ（ボランティア活動が組み込まれている場合）	時間に応じて、カウント。
13	学校行事として行われるボランティア活動（例：廃品回収など）	学校行事のため対象外。
14	吹奏楽部、和太鼓部などの演奏	部活動ではなく、自主的に介護施設などの慰問目的で訪問し演奏するのは対象。定期演奏会や商業施設など、演奏を披露することそのものが目的の時は対象外。学校を訪れた来賓に演奏するなども対象外。
15	運動部（テニス部、サッカー部など）による校庭の掃除（落葉拾い、芝生整備など）	学校の教育活動のため、対象外。

Ⅲ. 体験発表会について

ESD パスポート運用時は体験発表会の実施を高校生では必須、小中学校では任意としてきました。SDGs パスポートでは主催者が各ユ協になりますので、日ユ協連としては必須とはしませんが、開催を任意で奨励いたします。

児童・生徒がボランティア活動に参加し、持続可能な社会づくりに向けて取り組んだことを発表することは、自分の活動を見つめ直し、より深める良い機会となります。PTA や地域のボランティア団体、近隣のユネスコ協会・クラブにも参加してもらうことで、活動の輪が広がるきっかけにもなるかもしれません。

各自治体における新型コロナウイルス感染症に関する最新情報を確認し、慎重に検討した上で、実施するようにしてください。

ESD パスポートの時代から素晴らし活動をしているユ協が多くありますので、ほんの一部ですが、紹介いたします。自分の地域で開催する際の参考にしてください。

1. 2018 年度開催事例

(1) 名古屋ユネスコ協会（2018 年 12 月 8 日開催、於：愛知県立千種高等学校）

特徴：ESD パスポート参加校の間で会場を持ち回りで実施。受付・進行など会場高校の生徒たちが運営。

2018 年度は、中・高 6 校のユネスコスクールから生徒 60 名と教員 11 名が参加。ワークショップは、会場校の愛知県立千種高校生が「難民」というテーマの設定を始め、企画全てを自分たちで行い、学校の枠を超えて生徒同士が活発に意見交換をし、大変盛り上がった。教員間の意見交換会も同時開催。

主催：名古屋ユネスコ協会 共催：日本ユネスコ協会連盟

後援：ESD コンソーシアム愛知 愛知県教育委員会 名古屋市教育委員会

岡崎市教育委員会、日本ユネスコ国内委員会（公財）ユネスコ・アジア文化センター

13:00	開会式
13:05	第 1 部 表彰 ボランティア活動認定証、および奨励賞の授与
13:15	第 2 部
	◇活動発表
	・岡崎市立竜南中学校 ・名古屋市立名東高等学校 ・名古屋市立北高等学校
	・中部大学春日丘高等学校 ・椙山女学園高等学校 ・愛知県立愛知商業高等学校
	・愛知県立千種高等学校
	◇公益社団法人日本ユネスコ協会連盟主催派遣事業 参加報告
	1) 「第 8 回 ESD 国際交流プログラムに参加して」 愛知県立愛知商業高等学校 2 年
	2) 「第 5 回高校生カンボジアスタディツアーに参加して」 名古屋市立北高等学校 1 年
14:40	第 3 部 交流会・ワークショップ
15:50	閉会式 講評、記念写真撮影
16:30	終了

大阪府ユネスコ連絡協議会 (2018年12月24日(月祝)開催 於：大阪 YMCA)

特徴：One World Festival for Youth の一部として開催。

受付、進行など、持ち回りで担当校の生徒が主体となり運営。

児童・生徒 54 名、教員・社会人 24 名、ユネスコ協会 7 名 合計 85 名参加。

今年は、小学 5・6 年生の 3 人が中高生の先輩方を相手に見事な発表をしてくれ、参加してくれた中高生にとっても、とてもいい刺激となった。

主催：大阪府ユネスコ連絡協議会 共催 (公社) 日本ユネスコ協会連盟

後援：大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、日本 ESD 学会、近畿地方 ESD 活動支援

日本ユネスコ国内委員会、(公財)ユネスコ・アジア文化センター、ESD 活動支援センター

【参加校】

大阪市立清明丘小学校、大阪市立鶴見橋中学校、追手門学院中学・高校、大阪府立春日丘高校、コリア国際学園中高等部、大阪府立佐野高校、大阪府立北摂つばさ高校、大阪府立松原高校

【プログラム】

10:00 開会 会長挨拶

各校児童生徒報告 8校がそれぞれ4分間で活動を発表

11:10 グループ討論 「ボランティア活動で自分がどう変わったか」

参加児童生徒が7つのグループに分かれ学校を超えて意見交換したのち、グループごとに発表

12:00 全体会/「ボランティア活動認定証」授与式

12:40 閉会 写真撮影

2. 体験発表会準備スケジュール

12月中旬に体験発表会を開催する場合の目安として、参考にしてください。

下記のケースは、会場や当日の進行を、持ち回りで参加校が担っています。

期日	内容
4月	① 体験発表会開催日と会場を参加校の通知 ② 会場校へ挨拶
5月	交流会ファシリテーターの決定、及び打ち合わせ
6月	第1回ユネスコ協会内 打ち合わせ
7月	体験発表会後援申請—県教育委員会、市教育委員会、地域 ESD 活動支援センター等
9月	第2回ユネスコ協会内 打ち合わせ
10月	各校へ体験発表会開催要項配布 (参加申し込み用紙同封)
11月	① 会場校にて、司会者、運営スタッフと打ち合わせ ② 活動認定申請受付 ③ ユ協HP掲載
12月	1. 初旬：プレスリリース発信 2. 中旬：体験発表会 開催日
1月	報告書作成

IV. 参考情報

①ボランティア活動の場づくり

子どもたちが「SDGs パスポート」を持って参加できるボランティア活動を、ユ協で計画しましょう。多くのユ協で、「世界寺子屋運動」の街頭募金や、書きそんじハガキ回収と整理をされていると思います。まずはそうした活動に子どもたちの参加を呼びかけてみましょう。また、企業や他団体と連携するきっかけにしてください。

募金活動（世界寺子屋運動、被災地支援）



世界寺子屋運動募金活動を高校生と実施
(室蘭ユ協)



ユ協後援のチャリティーコンサートで
東日本大震災の奨学金募金を呼びかけ
(名古屋ユ協)

未来遺産運動との連携



過疎高齢化により荒廃した棚田の再生を目指す英田上山棚田団(プロジェクト未来遺産登録)の棚田での田植えに、高校生が協力(津山ユ協)

※プロジェクト未来遺産の登録プロジェクトでも生物多様性活性化プロジェクトや、絶滅危惧種の生態調査など子どもたちが参加するボランティア活動が行われています。

平和の鐘を鳴らそう運動



受付など平和の鐘を鳴らそう運動のお手伝い(富山ユネスコ協会)

書きそんじハガキへの協力

ユネスコ協会の書きそんじハガキの整理に参加

②ボランティア保険について

1. ボランティア保険の加入について

SDGs パスポートは、児童・生徒のボランティア活動への参加を奨励するためのツールであり、ボランティア活動中の事故の責任は各ボランティア活動の主催者にあるというのが、基本的な考え方です。

ユ協でボランティアを主催する場合には、活動内容なども考慮した上で、ボランティア保険の加入の必要性について、ユ協内でご検討ください。

なお、全国の社会福祉協議会やボランティアセンターでは、ボランティア活動中の万一の事故に備えた保険として、ボランティア活動保険の加入申し込みをすることができます。保険期間が1日単位のものから、1年間のものがあります。下記は東京都の例ですが、詳細は各地の社会福祉協議会にお問い合わせください。

参考： 東京都社会福祉協議会 イベント保険 1名 30円（最低掛金）
ボランティア保険 年間 300円（最低掛金）

都道府県・指定都市社会福祉協議会一覧

<http://www.shakyo.or.jp/network/kenshakyo/index.html> から各地の社会福祉協議会のHPへジャンプすることができます。



2. 市町村が保険料を負担するケース

コミュニティ活動補償制度（市町村が保険料を負担）の有無をユネスコ協会調べ、制度がある場合は、本事業がコミュニティ活動補償制度の対象となるよう、市町村へ要請するなどし、子どもの事故を保証するように工夫をしてください。

③学校用参加申込書

ESD パスポートと同様の学校用参加申込書になります。日ユ協連への提出は必要ありませんので、ご自由にご利用ください。

編集用データが必要な場合は様式1「2020年度「ユネスコ協会SDGsパスポート」実施連絡書」よりお申込みください。エクセルデータをメールにてお送りいたします。

ユネスコ協会御中

「ユネスコ協会SDGsパスポート」参加申込書

(貴校の「SDGsパスポート」導入について、該当する項目に○もしくは()にご記入ください)

以下のように参加を申し込みます。

A	学校名		
B	担当者氏名	氏名 ()	
	連絡先	TEL ()	
C	参加人数	()人	
		* 昨年配布されたパスポートが終了していない場合は継続してお使いいただけます。その場合、継続して使う児童・生徒数と新規に参加する児童・生徒数 (D欄「新規SDGsパスポート希望数」) を足した数をご記入ください	
D	新規SDGsパスポート希望数	・ 児童・生徒数 () 部	
		・ 教員分 () 部	
		・ 合計 () 部	
E	実施形態	・ () 学年	
		・ () 委員会	
		・ () クラブ	
F	ボランティア活動に際し 保健適用の有無 (課外活動として)	あり	なし
G	活動希望テーマ	該当欄に○	
		国際協力・国際交流	
		環境保護	
		平和	
		文化・芸術	
		防災・減災	
		福祉	
その他			
H	その他、 希望・要望		

V. 日ユ協連に提出する書類

日ユ協連発行 活動認定証が必要なユネスコ協会 ※条件に当てはまる場合のみ

様式2【日本ユネスコ協会連盟発行 活動認定証 申込書】

日ユ協連が定めるガイドラインに沿って 30 ボラン達成した児童・学生がいる場合、ユ協にてボラン数とボランティア活動の内容を確認し、お申込みください。

参加校分をとりまとめて、なるべく一度に下記書類と共に連盟事務局へお送りください。

- ① 30 ボランを達成した生徒のボランティア活動実績表 (p9-26) のコピー
- ② 活動記録のページ (p.27-28) のコピー



日本ユネスコ協会連盟発行 活動認定証 申込書

学校名 _____

ご担当者氏名 _____

ボラン達成者数 _____ 名

	学年	性別	氏名	開始日	終了日	ボラン数
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

※日ユ協連のガイドラインに沿って 30 ボラン達成した場合にのみ発行いたします。
ユネスコ協会にてボランティア活動の内容とボラン数を確認の上、お申込みください。

ユネスコ協会

確認担当者 氏名 _____